

町長に対する問責決議



現庁舎

【山岡寛次町長に対する問責決議案】を賛成多数で可決しました。

【内容】
町長は、三月定例議会で「役場庁舎移転事業は、移転候補地が決定次第、事業手法の比較検討を含めた基本計画の策定を行い、新庁舎の基本理念や整備方針を定めるとともに、より具体

賛成多数で可決

【賛成九・反対六】

的な施設の規模や機能などを明らかにする。」とし、予算審査特別委員会では、「役場庁舎移転事業の予算の執行については、移転候補地が一本化されてからの執行である。」と町執行部が明言している。

しかし、今定例会の一般質問の答弁の中で「本会議が終わり次第、業務委託に着手する準備を始める。執行権は町長に与えられた権利である」などの発言があった。このような発言は矛盾極まりないものである。町民の意向や議会の意志を軽んじているとしか言えず、町政の最高責任者として民主主義の根底をくつがえすものであり、リーダーシップの欠如は今後の海田町政に大きな汚点を残すことになる。

よって山岡寛次町長に猛省を促すとともに、その責任を強く問うものである。

反対討論

予算は議会に提案して可決されている。これまでの未執行の原因は、議会にも責任がある。

（庁舎移転に係る）住民アンケートの尊重や、昨年十二月議会で可決された（役場庁舎移転・建設地に関する）決議などへの町長の対応が不十分であることは認識している。しかし、町営プール跡地への庁舎建設は、土地に係る負担が生じる可能性や、学校用地が削減され、教育環境の悪化につながる問題がある。

今、一番犠牲になっっているのは町民である。これからのまちづくりのため、お互いが歩みよることを切望し、本案に反対する。

賛成討論

●今議会において町長は、三月定例会や予算審査特別委員会で発言してきたことと異なる内容の発言をした。その意味から、この決議案に賛成する。

●今議会の一般質問での町長の答弁は、三月定例議会や予算審査特別委員会での議会との「約束」に明らかに反しており、容認できない。庁舎問題を前進させ候補地を一本化させるには、「現在地」に方針を変える方が良く、と考え、その期待も含め、本案に賛成する。

●庁舎問題とは無関係に、町長が守らなければならぬルールを無視したことに問題があると考え、本案に賛成する。

9月定例会を9月7日、8日に開きました。

条例の制定や改正、補正予算、意見書案、決議案などを慎重に審議した結果、意見書案は否決、決議案は賛成多数で可決、そのほかは全会一致で可決しました。

平成21年度決算の認定については、決算審査特別委員会に付託しました。詳しい内容は、次号でお知らせします。

条例

十月一日から

たばこ税率の引き上げ

主に 一本当たり
三・五円引き上げ

地方税法等の改正に伴って、町たばこ税の税率の引き上げなどを行う条例改正を可決しました。

一箱（二十本入り）七十円の増税で、たばこの種類によって差はありますが、一箱百十円程度の値上げが予想されます。



値上げになります

Q たばこ税率の引き上げに伴って、今後の税収はどのようになるのか。

A 税率は上がったものの、たばこが値上げされることで喫煙をやめる人の増加が予想されるため、税収が増加するか、減少するかは現時点では分からない。

Q 税収の増減が分かるのはいつごろか。

A 前回の引き上げでは、引き上げから約一年後に税収額が定着したが、今回は引き上げの幅が大きいので、予測できない。



南大正町に移設になります

正算 港町公園の改修など
補予 総額 六千五百八十万円 増額

主な内容

- 港町公園の改修
トイレの改修と、公園前の記念碑移設。
- 資源物回収奨励金の増額
景気回復に伴って資源物売却単価が上昇したことにより、奨励金も増額。
- 環境センター公用車整備
ダンプ車・パワーゲート車各一台を低公害車に買い替える。
- 日の浦橋の塗り替え
塗装の剥がれ落ちが進行している日の浦橋の塗り替えと防錆処理。
- 海田東公民館改修
空調設備の改修。

意見書案を否決

【賛成 二 反対 十三】

【消費税の増税に反対し、食料品非課税を求める意見書案】が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

【内容】

政府は、来年度から消費税の増税をねらっているが、国民のくらしや家計を守るため、消費税の増税に反対し、次のことを求める。

- ① 消費税の増税は、やめること。
- ② 食料品など生活必需品を非課税にすること。



消費税の議論が待たれます

反対討論

現在の日本は、財政の再建だけでなく、国民福祉の充実を、少子高齢化が急速に進む中で実現しなければならぬ。この厳しい状況を踏まえると、消費税増税の議論は必要と考え、本案に反対する。

賛成討論

消費税導入から二十年が経過したが、社会保障は一向に充実していない。消費税増税は、国民に負担増を強いることになり、景気の悪化、生活が成り立たなくなる。政府は、消費税増税をすることなく、くらし優先の政策を充実させるべきと考え、本案に賛成する。

審議した議案と各議員の賛否（平成22年9月定例会）

○は賛成、×は反対を表しています。

議案名	議員名	大	兼	下	住	宗	桑	岡	西	渡	多	西	崎	原	前	佐	審
		江	山	岡	吉	像	原	田	田	辺	田	山	本	田	田	中	議
		康	益	憲	秀	啓	公	良	祐	善	雄	勝	広	幸	勝	十	果
		子	大	国	公	之	治	訓	三	隆	一	子	美	治	男	九	
財政状況の公表に関する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
税条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成22年度 一般会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成22年度 後期高齢者医療特別会計補正予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
消費税の増税に反対し、食料品非課税を求める意見書案		×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	否決
山岡寛次町長に対する問責決議案		×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

※久留島元生議長は、採決に加わりません。